

一般質問

古橋 智樹 議員

Q 国保引き下げ等の政策による市民負担増の認識は

A サービスが必要などころには費用を支出すべき

Q 市長はこれまで、中学生以下の医療費無料化や、国保税の引き下げ等の取り組みを行ってきた。この無料や引き下げた分は市民の負担で賄うことになるが、この認識について伺う。

A 宮嶋市長 例えば、子育ての支援については、どんどん進めるべきです。一方で、高齢者に対する過剰サービスについては、聞いていかなくはなりません。やはり改革すべきところはどんどん改革していく。そういう中で、サービスが必要などころには費用を出していく。そういう姿勢で今後も臨みたいと思っております。

Q 介護保険の会計は、毎年度1億円ずつ増えている。介護保険料も引き上げている。この実態の中で、当市に介護施設を増やして産業と結びつける市長の考え方には、不安要素があると思うが、本当に大丈夫なのか伺いたい。

A 宮嶋市長 今回の介護保険制度は、例えば、かすみがうら市にある介護保険施設を東京の人が利用した場合、東京での住所地の介護保険扱いとなっております。これは特別な制度ですので、この住所地利権を絶対やめないよう、市長会を通じ申し入れております。

321 市長残任期間と政治責任姿勢について
国の復旧復興費の計画使途不明について
介護保険料上げと市内施設追加の供給について

質問事項



佐藤 文雄 議員

Q 放射能汚染から子どもを守る対策として、民有地除染の考えは

A 線量測定器の無料貸し出しを行い、所有者の判断で除染を実施

Q 土浦市は、民有地の除染の対応方針を公表し、除染対象区域内で中学生以下の子どもがいる家庭を優先に放射線測定・除染の作業に取組んでいる。当市では民有地の除染対策を考えているのか伺う。

A 総務部長 当市内の放射線量は市の除染基準値を下回っている状況です。局所的には放射線量の高いマイクロホットスポットは確認されていますが、民有地の除染は所有者の判断で実施することとしています。そのため市民の皆さんには、線量測定器の無料貸し出しを行っており、その際に除染作業マニュアルを配布し、必要に応じ除染を行っていただくようお願いしています。

Q いじめ問題に対する市教育委員会の取り組みを伺う。

A 菅澤教育長 7月中旬に、いじめに関する実態調査を行い、7月・8月の定例教育委員会にて「いじめ問題への対応の手引き」を策定し、小中学校全職員への徹底を指示しました。いじめを絶対に許さない学校をつくるとともに、日頃から児童生徒が発する危険信号を見逃さないよう、いじめの早期発見・早期対応を進めています。今後も、定期的に各学校の取組み状況や実態を把握するとともに、学校と緊密なる連携を取りながら対応してまいります。

7654321 放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合対策について
入札制度の改善について
市立保育所の民営化について
いじめ問題に対する市教育委員会の取り組みについて
国民健康保険を命と健康を守る制度に
下土田の残土問題について
水道事業について（主に水道料金問題について）

質問事項



▲放射線量測定器

田谷 文子 議員

Q 中学生以下医療費助成の所得制限について

A 所得制限の撤廃を目指し努力してまいりたい

Q 中学生以下の医療費助成については、議会修正により所得制限を設けました。これにより約2580名が無料化にならないということです。この点について、市長の考えを伺います。

A 宮嶋市長 子育て支援を重視する私の政策方針としては、約4割が対象から外れることとなり、極めて中途半端であると考えます。子どもたちの育成を市民全体で支えるという非常に大事な政策と考えており、所得制限の早期撤廃を目指して、今後とも努力してまいりたいと考えております。

Q 学校におけるいじめの実態を把握するための体制と取り組みについて、教育長に伺います。

A 菅澤教育長 各学校では、一人一人の子どもが救いを求めて発するサインを見逃さずに、早期に対応するよう努力しております。また、アンケート調査や教育相談を定期的に行ったり、生徒指導部会での情報交換や養護教諭やスクールカウンセラーとの連携をとったりしながら実態把握に努めております。

質問事項

4321 今後の市長の政治姿勢について
修正可決された医療費助成について
観光果樹園の振興について
学校におけるいじめ問題について



栗山 千勝 議員

Q 今後も行政監査の実施により職員の質の向上を

A 必要に応じて実施の判断をしていきたい

Q 監査委員により、8月に事務の不正処理について行政監査を実施したとのこと。財務監査も大事だが、行政監査を実施することは、職員の質の向上にも大きくつながると考える。今後の行政監査の実施について考えを伺う。

A 代表監査委員 行政監査の対象は、部課等の組織、職員の配置、事務処理の手続、行政の運営といった幅広いものとなっております。何らかの問題が生じたときにその原因究明や不正の摘発を目的とするものではないとされておりますが、必要に応じ監査の実施を判断したいと考えております。

Q 市長は他の議員の質問に対して、「霞ヶ浦の漁業者は壊滅的だ」「もう東電への補償しかない」と漠然と答弁している。この発言は大きな波紋を及ぼすと思うが、発言の根拠を伺う。

A 宮嶋市長 7月の末にワカサギ漁、シラウオ漁等が始まりましたが、放射能の値としては全然問題ないわけです。しかし、風評被害が漁業者に相当のダメージを与えております。こういう事態が続くと、もう漁をやる意味がないわけです。漁をやらないうことになる、後継者を育てるという意識もなくなります。非常に漁の存続が危ぶまれる状況であることから、私は極めて壊滅的な打撃であると判断しております。

質問事項

321 危機管理について
荒廃した農地活用について
監査事務について



▲志戸崎漁港

- 質問事項**
- 7 学校耐震化について
 - 6 全国的に多発している、いじめ問題について
 - 5 老朽橋の安全対策について
 - 4 障がい者総合支援法について
 - 3 市検診にピロリ菌検査の導入について
 - 2 子ども達にがん教育実施について
 - 1 24時間訪問介護について



Q 教師と子どもの心のきずなをいかに結べるかが、いじめの問題には大事である。一方、今非常に雑務が多く、ゆとりのない中で対応するのは大変との教師からの話も聞く。教育長はどのように受けとめているのか伺う。

A 菅澤教育長 教師の情熱や本気度といった気持ちを子どもたちにつけることは大事なことと思います。子どもとの信頼関係ができていけば、保護者との信頼関係もできます。雑務が多いとのことですが、教員の本務は子どもと向き合うことであるとのこととを再確認して進めてまいります。

Q 市の胃がん検診にピロリ菌の血液検査導入を

A 胃がん撲滅に有効であり実施に向けて要望

Q 胃がん撲滅のために、ピロリ菌感染の血液検査を市の胃がん検診のオプションとして全額自己負担として導入することの必要性と今後の対応について伺う。

A 保健福祉部長 胃がんリスク検診と、その検診結果により精密検査を受けた方について、医療機関と連携した胃内視鏡検査、ピロリ菌除去は、胃がん撲滅に有効であると考えます。市が検診を委託している総合健診協会に実施できるかを確認したところ、現時点では採血時の人の確保などの課題もあり不明とのことでしたが、実施に向けて要望していきたいと考えております。

本会議録画映像をホームページ公開中

<http://www.city.kasumigaura.ibaraki.jp/gikai/>



平成24年第2回定例会から本会議録画映像を、市議会ホームページで公開しております。ぜひ、ご利用ください。

茨城県南市議会議長会先進地視察

視察事項

- ・中越大震災後の防災体制等について
- ・市民防災センターについて
- ・アオーレ長岡の概要について

期 日：平成24年10月3日(水)～4日(木)
視 察 先：新潟県長岡市



市民防災センターにて説明を受ける小座野議長(左2番目)と中根副議長(左4番目)

【茨城県南市議会議長会とは】

県南10市の市議会正副議長を以って組織され、各市議会に共通する事項の円滑なる運営と研究を行い県南市議会の連絡を密にし、もって地方自治の振興発展に資することを目的としております。